

2027年度
外国人留学生入学試験要項



自分が変わる、未来を変える。

目 次

アドミッション・ポリシー	1 ～ 4
1. 募集学科・募集人員	5
2. 出願資格	5
3. 事前相談について	6
4. 出願期間	6
5. 出願書類	6
6. 心身に障害のある場合	7
7. 入学検定料	7
8. 選考方法	7
9. 試験日および時間	7
10. 試験会場	7
11. 試験当日の注意	7
12. 合格発表	7
13. 入学手続き	8
14. アパート・マンション等	8
納付金	9 ～ 1 0
出願から入学まで	1 2
試験場案内図	1 3

アドミッション・ポリシー

大同大学工学部、建築学部および情報学部では、次のような人を広く求めています。

(知識・技能・思考力)

- (1) 新しいものを創ることに興味をもち、工夫することができる人
- (2) 専攻する分野を学ぶための基礎的な知識や技能を有している人

(判断力・コミュニケーション力)

- (3) 広い視野と健全な価値観をもち、決断力と行動力のある人
- (4) 豊かな感性と表現力をもつ人
- (5) 人格を尊重しあい、他者と協調できる人

(関心・意欲・態度)

- (6) 自己の能力向上に意欲をもち、将来の夢や目標を見つけない人
- (7) 目標に向かって自己を開拓する意欲を持っている人
- (8) 学科・専攻の研究領域に興味をもち、専攻する分野の勉学への熱意をもつ人
- (9) 地域や社会との関わりに興味をもち、発展に貢献したい人

<機械工学科>

機械工学は、「ものづくり産業」に直接的に結びついた学問です。日常の生活で利用している産業製品は機械工学という学問と科学技術の結集によってつくられたものです。機械工学科では、これらの製品および製品を生み出す機械をつくるための基礎から応用までの知識と技術を有し、自ら学び、考え、行動できる人材を養成します。加えて、産業界の最先端技術の動向、知的財産権、情報技術、環境問題などについて学び、社会人・技術者としての素養を身につけ、人間・環境に優しい機械やものづくりを創造する能力を身につけることを目標としています。

機械工学科では、以下のような人を求めます。

- (1) 機械のしくみ、構造、機能などを考えて、創造的な機械・製品を設計したい人
- (2) 専門分野を学ぶための基礎知識を持っている人
- (3) 広い視野と健全な価値観を持ち、それを表現し他者と協調できる人
- (4) 機械工学を通じて、自らの目標を見つけられる人
- (5) 機械工学科の理念と特色を理解し、強い興味と勉学への熱意を持つ人
- (6) ものづくりが好きで、積極的にものづくりに挑戦したい人
- (7) 地球環境問題や社会貢献に関心を持っている人

<機械システム工学科>

機械システム工学科では、基盤とする機械工学に加え、エネルギー工学、自動車工学、航空宇宙工学、ロボット工学などの応用工学をバランスよく教育します。また、ICTを積極的に活用して、製図やCAD教育による機械設計技術や基礎的な電気・電子・制御技術の習得、さらに最先端の産業用ロボットなどを使用した実践的な学修を通して、複数の学問領域にまたがった対象を1つのシステムとしてまとめ上げることのできる「創造性豊かな」エンジニアを養成することを目標とします。

機械システム工学科では、以下のような人を求めます。

- (1) 機械と電気・電子技術を総合した創造性豊かな「ものづくり」に意欲的に取り組むことができる人
- (2) 機械工学や周辺技術（電気・電子工学、制御工学、メカトロニクス、プログラミングなど）の専門分野を学ぶための基礎知識や技能を持っている人
- (3) 実社会で活躍しているエネルギーシステム、自動車システム、航空宇宙システム、ロボットシステムなどに興味や関心がある人
- (4) 発見した課題や問題に対し、熱意をもって考えることができる人
- (5) 技術コンテストなど課外活動に積極的に参加する意欲のある人

＜電気電子工学科＞

電気電子工学科では、現代社会を支えるエネルギー、コンピュータ制御、ナノテクノロジーの3つの学問領域にわたる知識や技術を体系的に教育することを目指しています。これら3つの学問分野をシステムとして有機的に結びつけた教育により、基礎から応用までの知識と技術を有した持続可能な社会に貢献できる人材を養成します。授業ではハードウェアからソフトウェアまで総合的に学習し、再生可能エネルギーから最先端のナノテクノロジーまで、講義と実験を組み合わせた多くの実践的な授業を通して、自ら考え、行動できる能力を身に付けることを目標としています。

電気電子工学科では、以下のような人を求めます。

- (1) 電気電子工学の専門分野を学ぶために必要な数学、物理の基礎学力を有している人
- (2) 電気電子工学の専門分野に興味をもち、勉学への熱意を持つ人
- (3) 「ものづくり」に興味や関心がある人
- (4) 広い視野と健全な価値観を持ち、決断力と行動力がある人
- (5) 新しい価値の創造に興味を持ち、その実現に向け工夫し、努力する人

＜建築学科 建築専攻＞

英語では、建築のことを“architecture”、建築家のことを“architect”と言います。“archi”は、「第一の、先頭に立つ、主要な」などの意味を持ちます。つまり、“architect”とは、元々は、先頭に立って全体を統率する技術者のことを指します。建築学科 建築専攻では、そのように対象とする建築やインテリア空間の設計や施工(工事)を統率するリーダーになろうとする人を養成します。

建築専攻では、以下のような人を求めます。

- (1) 建築やインテリア空間の設計や施工(工事)を統率するリーダーとなるための最も基礎的な5分野(計画、歴史、構造、材料、環境)を理解しようとする人
- (2) 目まぐるしく変化する社会や地域の中で見過ごされた建築的課題や人々の心の奥底に隠された無意識の建築的要求を発見し、その課題や要求に対する解を考え、具体化(デザイン化)しようとする人
- (3) 具体化した提案を、言葉、図面、模型、コンピュータを使って、丁寧に、分かりやすく説明できる能力を持とうとする人

＜建築学科 インテリアデザイン専攻＞

英語では、建築のことを“architecture”、建築家のことを“architect”と言います。“archi”は、「第一の、先頭に立つ、主要な」などの意味を持ちます。つまり、“architect”とは、元々は、先頭に立って全体を統率する技術者のことを指します。建築学科 インテリアデザイン専攻では、そのように対象とする建築やインテリア空間の設計や施工(工事)を統率するリーダーになろうとする人を養成します。

インテリアデザイン専攻では、以下のような人を求めます。

- (1) 建築やインテリア空間の設計や施工(工事)を統率するリーダーとなるための最も基礎的な5分野(計画、歴史、構造、材料、環境)を理解しようとする人
- (2) 目まぐるしく変化する社会や地域の中で見過ごされた建築的課題や人々の心の奥底に隠された無意識の建築的要求を発見し、その課題や要求に対する解を考え、具体化(デザイン化)しようとする人
- (3) 具体化した提案を、言葉、図面、模型、コンピュータを使って、丁寧に、分かりやすく説明できる能力を持とうとする人

＜建築学科 かおりデザイン専攻＞

かおりデザイン専攻では、空間の快適性に密接に関係する「におい・かおり」について学びます。人の心や生活環境における「におい・かおり」の特性と役割、活用法などの基礎知識を身に付け、「におい・かおり」の測定・評価技術を修得し、「におい・かおり」を活用した豊かな生活がデザインできる能力を養成します。

かおりデザイン専攻では、以下のような人を求めます。

- (1) 様々なにおい・かおりに興味や関心のある人
- (2) 生活環境の様々な事象に興味や関心があり、問題点や課題を見出し、解決策を考えることに意欲的な

人

- (3) 調査・実験の手順等を様々な角度から考え、組み立てることができる人
- (4) 調査・実験等にグループで協力して取り組める人
- (5) 様々な課題に対して誠実な態度で臨むことのできる人
- (6) 実験・実習に積極的に取り組むことのできる人
- (7) 生活の中の不快なお悩み問題を解決し、かおりを適切に活用していきたいと考えている人

＜建築学科 都市空間インフラ専攻＞

都市空間インフラ専攻では、都市に必要な施設を適切に整備するための調査・計画、設計、施工、ならびに管理の方法や、都市の抱える様々な環境問題を解決する方法等について教育します。わたしたちが安心して快適に生活するためには、道路、鉄道、空港、港湾といった交通・通信施設、川や海の護岸や堤防等の防災施設、また上下水道や電力・ガスなどの施設が必要です。さらに、都市の緑化や生物多様性の保護・復元等も重要となっています。理論や知識の教授だけでなく、まちづくりに関する実験・実習を通して、安全・安心で快適な「まち」を創造することができる技術者を養成します。

都市空間インフラ専攻では、以下のような人を求めます。

- (1) 都市空間インフラ専攻の専門分野に興味をもち、勉学への熱意をもつ人
- (2) 安全・安心で快適な都市環境をデザインしたい人
- (3) 自然と人工物の調和に関心がある人
- (4) 「まちづくり」の仕事がしたい人
- (5) 地図に残る「ものづくり」をしたい人

＜情報システム学科＞

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたサイバーフィジカルシステム(CPS)により、データを最大限活用したデータ主導型の超スマート社会が形成されようとしています。そうした社会の状況を踏まえ、情報システム学科では情報技術の専門教育を通して、情報システムの作り手・使い手としての専門的な知識・技術を有する人材を養成します。

情報システム学科では、以下のような人を求めます。

- (1) 将来、コンピュータやネットワークシステム、人口知能やデータサイエンスにかかわる技術者として社会に貢献したいと考える人
- (2) コンピュータやネットワークシステム、人工知能やデータサイエンスに興味をもち、勉学への熱意をもつ人
- (3) コンピュータを動作させるプログラムに興味をもち、その習得に積極的な人
- (4) 基礎的な数学の能力をもち、物事を理論的に説明でき、問題を解決できる人

＜情報デザイン学科＞

ますます高度情報化する社会において、ビジネスを発展させたり、人の心や生活を豊かにしたりするデザインの役割が高まっており、デザインで活躍できる人が期待されています。

情報デザイン学科では、以下のような人を求めます。

- (1) 身の回り、そして広く社会にある色、形、素材などに興味・関心があり、それらの組み合わせや表し方を追求することに意欲のある人
- (2) グラフィックス、音楽、映像、造形などに興味・関心があり、先進的かつ実践的な創作やものづくりに意欲のある人
- (3) コンピュータのソフトウェアの動作や仕組み、ならびに、コンピュータで動く 3D プリンタの操作など、情報機器の理解・活用に興味・関心がある人
- (4) 時代の流れや社会の様子に敏感で、他の人たちと協力して、実業界で活躍したり、社会に貢献したりすることに意欲のある人

＜総合情報学科＞

総合情報学科は、ビジネスの中核を担う企画力と実行力を有する有為な人材を養成するために、情報学、経営学、スポーツ学という三つの学びの分野を提供し、PBL(Project-Based Learning 課題解決型学習)によって実学教育の具現化に努めています。

総合情報学科では、以下のような人を求めます。

- (1) 幅広い教養と専門知識を実践に活かし、自ら主体的にデータ分析・問題解決を行い、企業社会の中で活躍を望む人
- (2) 専門知識と経験を活かし、幅広い観点から優れたマネジメントを行うことに興味のある人
- (3) 専門知識やマネジメント能力を、地域活性化などあらゆる社会活動に役立てることに意欲のある人
- (4) 活躍の場を広く求めコミュニケーション能力の向上に意欲的な人
- (5) 指導力・統率力を発揮し、ビジネス・リーダーになりたい人
- (6) 未知の領域に挑戦する勇気のある人
- (7) 地域や社会へ貢献することを自分の喜びとして行動できる人

1. 募集学科・募集人員

学 部	学 科	専 攻	募集人員
工 学 部	機械工学科		若 干 名
	機械システム工学科		
	電気電子工学科		
建 築 学 部	建築学科	建築専攻	
		インテリアデザイン専攻	
		かおりデザイン専攻	
		都市空間インフラ専攻	
情 報 学 部	情報システム学科		
	情報デザイン学科		
	総合情報学科		

2. 出願資格

日本国籍を有しない者で、出入国管理および難民認定法において、「留学」の在留資格を有し、独立行政法人日本学生支援機構の実施する日本留学試験において本学が指定する科目の受験者で、事前相談において出願資格が認められ、次のいずれかの条件を満たす者。

なお、日本留学試験は当該年度または前年度分の成績を用いることができるものとする。

- (1) 外国において、学校教育における 12 年間の課程を修了した者
- (2) 国際バカロレア資格取得者で満 18 歳に達した者
- (3) アビトゥア資格取得者で満 18 歳に達した者
- (4) フランス共和国のバカロレア資格取得者で満 18 歳に達した者

●独立行政法人日本学生支援機構の実施する日本留学試験の受験指定科目

学部等名	日本語	総合 科目	数学	理科			出題 言語
				物理	化学	生物	
全学部学科専攻	○	—	コース 2	○	1 科目選択		日本語
建築学科 建築専攻 インテリアデザイン専攻 かおりデザイン専攻 都市空間インフラ専攻 情報デザイン学科 総合情報学科	○	○	コース 1	—	—	—	日本語

3. 事前相談について

外国人留学生入試の受験には志望学科・専攻の担当教員との事前相談が必須となります。

事前相談期間前に本学へ連絡の上、事前相談の予約をしてください。

事前相談期間：2026年11月2日（月）～2026年11月13日（金）

(1) 事前相談前に下記の必要書類を本学に持参もしくは送付してください。

(2) 必要書類（注）書類は、在留カードに記載の氏名を必ず用いてください。

	書 類 名	注 意 事 項
1	志 願 票 【本学所定用紙】	・邦文記入
2	志望理由説明書 【本学所定用紙】	・邦文記入
3	履 歴 書 【本学所定用紙】	・邦文記入
4	身元保証書 【本学所定用紙】	・邦文記入 ・日本に居住する保証人の保証書 身元保証人が日本人以外の場合は、身元保証人の住民票を添付してください。
5	在留カードのコピー	・出入国在留管理庁の交付する在留カードのコピーを提出してください。

4. 出願期間

2026年12月1日（火）～2026年12月10日（木）消印有効

(1) 出願用封筒は、市販の角2型（A4サイズの紙が折らずに入る封筒）の表に本学所定の用紙を貼り付けしたものを使用して下さい。

(2) 出願は速達簡易書留での郵送とし、出願期間締切日の消印有効とします。

(3) 出願書類提出後の志望学科等の変更は、一切認められません。

(4) 一旦受理した出願書類は、事由のいかんを問わず返還いたしません。

(5) 身体に著しい機能障害がある場合には、出願に先立ち出願期間開始日より7日前までに必ず文書で入試室まで相談してください。

(6) 出願が完了しましたら、試験日のおよそ1週間前までに受験票をメールにて送付します。

5. 出願書類（注）出願書類は、在留資格証明書に記載の氏名を必ず用いてください。

	書 類 名	注 意 事 項
	写 真 票 【本学所定用紙】	・出願日より3ヵ月以内に撮影した上半身正面、脱帽、背景なしの40mm×30mmの写真を写真貼付欄に貼り付けてください。
2	最終学歴の卒業（修了） 証明書	・邦文もしくは、英文証明書
3	最終出身校の成績証明書	・邦文もしくは、英文証明書

6. 心身に障害のある場合

- (1) 就学上、特別の配慮を必要とする方は、大学における学習サービスの観点から、個別に面談を実施する場合があります。
- (2) 出願に先立ち出願期間開始日より2週間前までに入試・広報室まで連絡してください。

7. 入学検定料

35,000円

- (1) 本学所定の振込依頼書を使用し、出願期間中に銀行窓口で振込んでください。
(ATMからやネットバンキングからも振込可)
なお、振込依頼書に記入する受験番号は大同大学入試・広報室に確認してください。
- (2) 銀行窓口で振込みした場合、振込依頼書に付いている振込受領書が発行されます。確認の上、しばらく大切に保管してください。(ATM利用の場合は【ご利用明細】を、インターネットバンキングでは【入出金明細照会】または【お取引記録】でご確認ください)
- (3) 振込手数料は本人負担となります。
- (4) 一旦納入した入学検定料は、事由のいかんを問わず返還いたしません。

8. 選考方法

- (1) 書類審査
 - (2) 面接試験
- (1) と (2) を総合評価して、合否を決定します。

9. 試験日および時間

試 験 日	集 合 時 間	面 接 時 間
2026 年 12 月 19 日 (土)	9 : 30	10 : 00～

10. 試験会場

大同大学 (試験会場案内図 13 ページ参照)

11. 試験当日の注意

- (1) 試験当日は、受験票を必ず持参してください。試験日の3日前になっても受験票が届かない場合は入試・広報室にご連絡ください。
(注) 万一忘れた場合は、係員もしくは受付まで速やかに申し出てください。
- (2) 集合時間より30分以上遅れた場合は、受験できません。
- (3) 面接開始20分前までには、面接控室に入室してください。
- (4) 面接控室入室後は、係員の指示に従ってください。

12. 合格発表

2026 年 12 月 26 日 (土) 午前 9:00～

合格発表は、「合否照会システム」(<https://exam-entry.52school.com/daido-it/result>) を利用して行い、学内掲示および本学の HP での発表は行いません。合格通知書は合否照会システム内の合格発表画面からダウンロード、印刷が可能です (合格発表日の翌日から可能となります)。

13. 入学手続き

合格者は合否照会システムの合格発表画面から入学手続きシステムにアクセスできるようになっています。入学手続きシステムのログインには合格発表画面に記載されているログイン ID が必要です。入学手続きは、大同大学 HP「入学手続きについて」(https://www.daido-news.jp/admission/entrance_exam/tetsuzuki/)に掲載している入学手続き案内を確認の上、指定の納付金を下記の期限までに納付してください。

納入方法	納入期限	
	入学金	前期分の授業料等
一括納入	2027 年 1 月 8 日 (金)	

- (1) 入学手続き期限までに手続きをされない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。
- (2) 納付金の手続きの詳細については大同大学 HP の「入学手続きについて」(https://www.daido-news.jp/admission/entrance_exam/tetsuzuki/)を参照してください。

14. アパート・マンション等

本学には、学生寮はありません。希望者については、大学周辺のアパート・マンション等を紹介します。

納付金

【工学部、建築学部、情報学部／情報システム学科、情報学部／情報デザイン学科】

(1) 学生納付金

(単位：円)

区 分	1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次	
	入学手続時	後期分 (9月 末)	前期分 (3月末)	後期分 (9月末)	前期分 (3月末)	後期分 (9月末)	前期分 (3月末)	後期分 (9月末)
入 学 金	300,000	---	---	---	---	---	---	---
授 業 料	470,000	470,000	480,000	480,000	490,000	490,000	500,000	500,000
施設設備費	172,500	172,500	177,500	177,500	182,500	182,500	187,500	187,500
計	942,500	642,500	657,500	657,500	672,500	672,500	687,500	687,500
年 額 計	1,585,000		1,315,000		1,345,000		1,375,000	

(2) 代理徴収金

(単位：円)

区 分	1 年 次				2 年 次 以 降		
	入 会 金	会 費		年額計	会 費		年額計
	入学手続時	入学手続時	後期分		前期分	後期分	
後 援 会	20,000	10,000	10,000	40,000	10,000	10,000	20,000
学 生 会	2,000	4,000	4,000	10,000	4,000	4,000	8,000
大 学 祭	---	3,000	---	3,000	3,000	---	3,000
災害傷害保険	---	3,300	---	3,300	---	---	---
計	22,000	20,300	14,000	56,300	17,000	14,000	31,000

(注) 1. 入学金、後援会、学生会入会金および災害傷害保険料は、入学手続時のみ徴収いたします。

2. 学生納付金の納入は、前期・後期の2回とします。

3. 入学者については、在学中ステップ制の適用により学年次ごとに定められた学生納付金を納入することになります。

4. 同窓会費は、入会金 20,000 円を 1 年次後期に、終身会費 40,000 円を 4 年次後期に別途徴収いたします。

5. 入学後、私費外国人留学生学生納付金減免を認められた者は、授業料の 10 分の 3 が後期分納入時に免除されます。

【情報学部／総合情報学科】

(1) 学生納付金

(単位：円)

区 分	1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次	
	入学手続時	後期分 (9月 末)	前期分 (3月末)	後期分 (9月末)	前期分 (3月末)	後期分 (9月末)	前期分 (3月末)	後期分 (9月末)
入 学 金	300,000	---	---	---	---	---	---	---
授 業 料	360,000	360,000	370,000	370,000	380,000	380,000	390,000	390,000
施設設備費	162,500	162,500	167,500	167,500	172,500	172,500	177,500	177,500
計	822,500	522,500	537,500	537,500	552,500	552,500	567,500	567,500
年 額 計	1,345,000		1,075,000		1,105,000		1,135,000	

(2) 代理徴収金

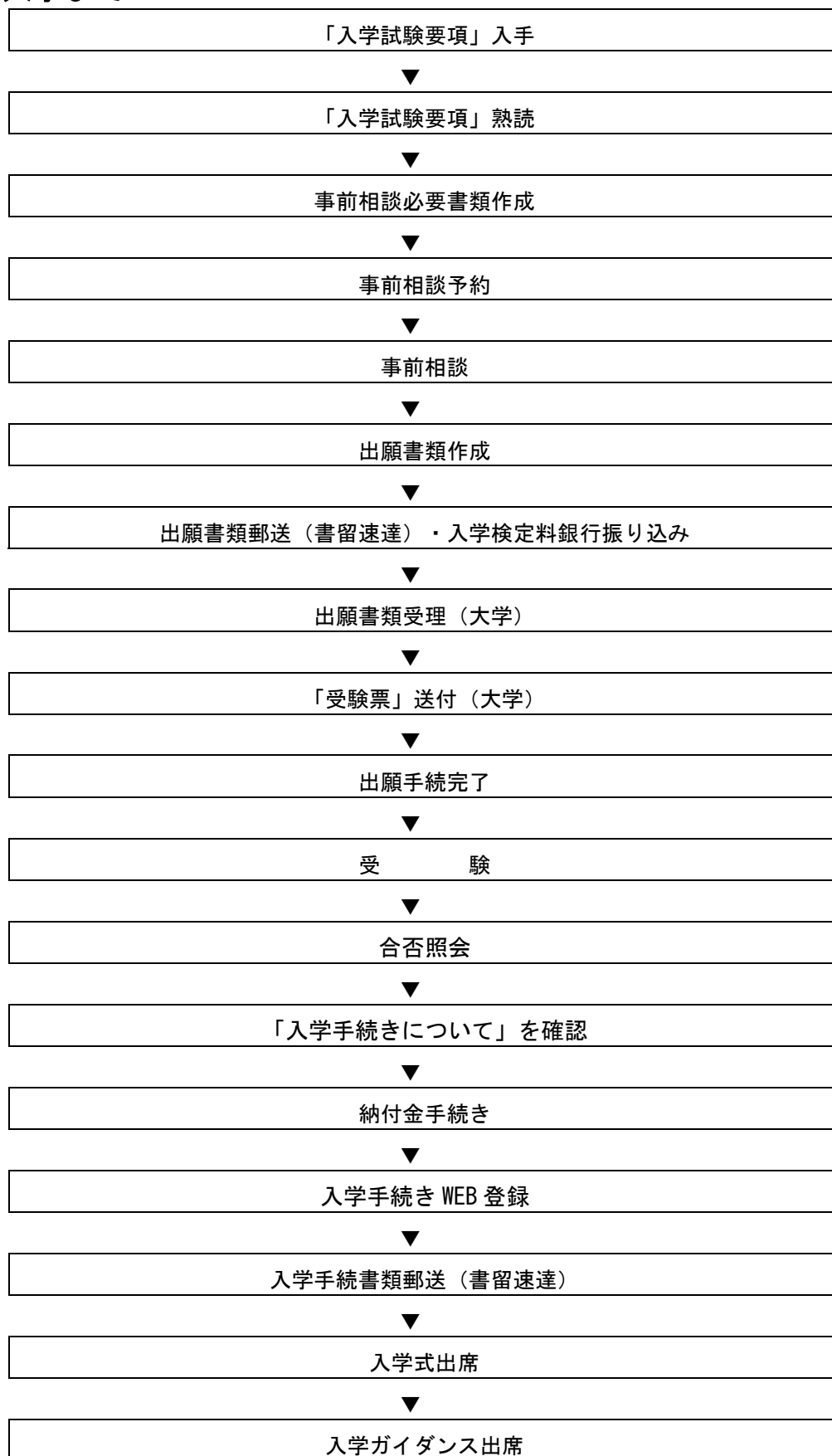
(単位：円)

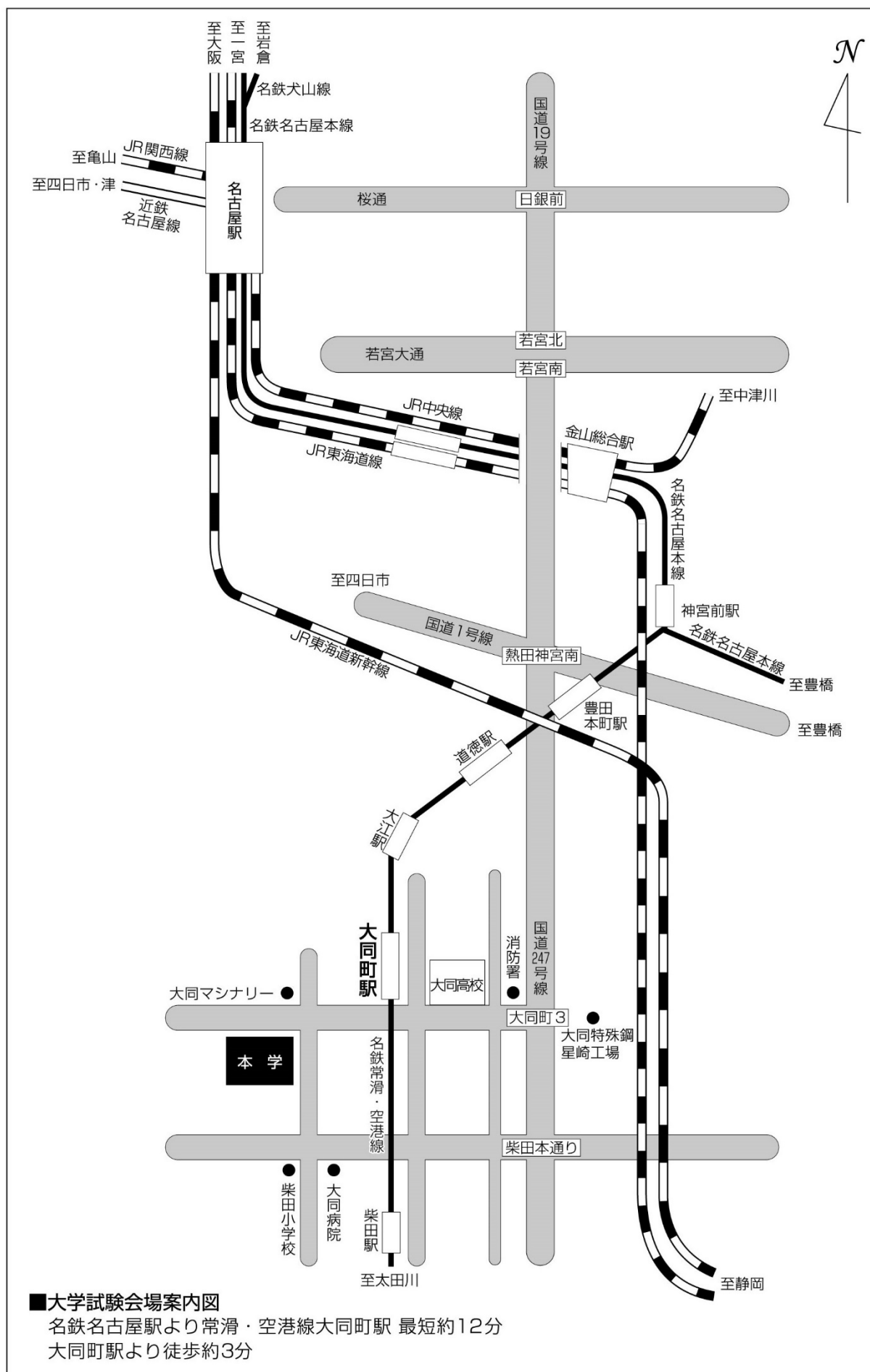
区 分	1 年 次				2 年 次 以 降		
	入 会 金	会 費		年額計	会 費		年額計
	入学手続時	入学手続時	後期分		前期分	後期分	
後 援 会	20,000	10,000	10,000	40,000	10,000	10,000	20,000
学 生 会	2,000	4,000	4,000	10,000	4,000	4,000	8,000
大 学 祭	---	3,000	---	3,000	3,000	---	3,000
災害傷害保険	---	3,300	---	3,300	---	---	---
計	22,000	20,300	14,000	56,300	17,000	14,000	31,000

- (注) 1. 入学金、後援会、学生会入会金および災害傷害保険料は、入学手続時のみ徴収いたします。
2. 学生納付金の納入は、前期・後期の2回とします。
3. 入学者については、在学中ステップ制の適用により学年次ごとに定められた学生納付金を納入することになります。
4. 同窓会費は、入会金 20,000 円を1年次後期に、終身会費 40,000 円を4年次後期に別途徴収いたします。
5. 入学後、私費外国人留学生学生納付金減免を認められた者は、授業料の10分の3が後期分納入時に免除されます。

メモ欄

出願から入学まで





大同大学

〒457-8530 名古屋市南区滝春町10-3
フリーダイヤル 0120-461-115
TEL (052) 612-6119 (直通)
FAX (052) 612-0125
ホームページ <https://www.daido-it.ac.jp/>
E-mail nyushi@daido-it.ac.jp